

パソコン運用管理受託

横河レンタクラウド型で支援

横河レンタ・リース 川裕一社長、0422
(東京都武蔵野市、金・60・1111)は

29日、パソコンを運用管理するクラウド型の法人向け業務受託サービス(BPO)を始めたと発表した。専用ポータルサイトをクラウドで提供し、企業の情報システム管理担当者とパソコンを利用する社員との間の情報連携の円滑化を支援する。パソコンやモバイル端

末を利用する企業にアピールし、2018年3月期に500社の利用を目指す。

提供するのは自社開発の「シンプリットマネージャー」。パソコンの調達を計画する段階から、実際に調達・導入し、運用、交換するまでの一連の流れを各種機能で支援する。今回のサービス提供により、自社のパソコンレ

ンタル拡大にもつなげる狙い。価格は初期費用、月額費用ともに無

料。ただし管理自体を代行する場合は有料。

同日、都内で開いた会見で金川社長は「最新の機器を最先端の環境で使えるようにし、これまでの所有文化から機器をレンタルする利用文化に変えたい」と述べた。